

令和2年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる「共同研究班」 研究報告書

令和 3年 4月 13日現在

研究課題名	スラブ・ユーラシア地域におけるメディア文化史の共同研究		
担当者	氏名	所属機関・職	
	安達大輔	北海道大学・准教授	
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	古宮 路子	東京大学・助教	20世紀ロシア文学
	研究テーマ		
	1920年代ロシアの文芸メディア——A. ヴォロンスキーの活動を中心に		

研究成果の概要

（1）古宮の研究活動

本研究はネップ期ソ連の文芸メディアをめぐる状況を、文学活動家A. ヴォロンスキーの事業を手掛かりに明らかにするものである。ヴォロンスキーはレーニンの側近であり、雑誌『赤い処女地』の編集を委任され革命後の文芸復興の一翼を担ったほか、文学サークル「ペレヴァール」を指導し、出版所「クルーク」を監督するなど、ソ連文壇の様々な分野で大きな影響力を行使した。その業績として特に知られているのは、革命後の文学界で排斥の対象となりがちであった非党員作家である「同伴者」の作品を『赤い処女地』に積極的に登用し、ソ連文学の礎を築いたことである。本研究は、ヴォロンスキーの様々な活動がいかに文壇に波及していったのか検証することで、当時の文芸メディアの全貌に迫ることを目指した。

研究の成果は、令和2年10月31日にオンライン（大阪大学）で開催された日本ロシア文学会における口頭報告「生活と芸術——レフとA. ヴォロンスキーの文学論争」で公開した。この報告はヴォロンスキーの文学理論家としての側面に光を当てたものであり、アヴァンギャルドのレフグループが唱えた「生活建設の芸術」への否定的応答としてヴォロンスキーが提唱した「生活認識の芸術」が、文壇においていかなる論争的展開をたどったかを文学史的に追った。それと同時に、ヴォロンスキーの文学観に対する19世紀リアリズムの影響について考察し、文学作品における「イメージ」の問題についての彼の立場がペリンスキーを追認しつつも社会主義リアリズムに近い要素も備えた折衷的なものであることを確認した。そのうえで、ヴォロンスキーの「イメージ」をレフのそれに対する考え方と対比し、前者は「絵画」モデルに立ち、後者は「写真」モデルに立つのではないかという指摘を行なった。

研究成果の概要（続き）**（２）国外研究者の招聘**

本研究の枠組みで、ロシアの研究者 A. イグナートワ氏を招聘し、令和 3 年 2 月 19 日にオンラインによるロシア語の講演会「草稿から本へ——テクストロギアの課題、シリーズ「文学の記念碑」のための Ю. オレーシャ『羨望』校訂を一例に」を開催した。イグナートワ氏はソ連の作家ユーリー・オレーシャの研究者で、特にテクストロギアの方法論での研究に実績がある。現在は、ロシア科学アカデミーのシリーズ「文学の記念碑」から刊行予定のオレーシャ『羨望』に向けたテキスト校訂を、ゴリキー記念世界文学研究所協賛のもとに行っている。会ではまずロシアにおける学問としてのテクストロギアの歴史について解説していただき、そのうえで、テクストロギアの最前線での実践の一例として、『羨望』テキスト校訂の実際を、豊富なアーカイブ資料を参照しつつお話しいただいた。資料の中には通常は現地資料館でも閲覧が許可されていない『羨望』草稿のカラーの写しなども含まれており、高度に専門的な内容にも触れる講演だった。会にはコメンテーターとして名古屋外国語大学教授・副学長の沼野充義先生にもご登壇いただいた。沼野先生にはオレーシャ専門家の立場から多角的なコメントと質問をいただき、会が大いに沸いた。講演会には 30 名程度の方に参加いただき、全体の会が終了した後も少なからぬ方が会場に残って闊達な議論が続いた。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

1. 古宮路子「生活と芸術——レフと A. ヴォロンスキーの文学論争」、日本ロシア文学会第 70 回大会、於大阪大学・オンライン、2020 年 10 月 31 日。（口頭報告、査読あり、謝辞なし）

当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト（科研費等）

- 2020 年 4 月～2023 年 3 月 若手研究「ロシア・アヴァンギャルド散文の変遷史：1920 年代ソ連文学の歴史・理論・美学」代表者、単年度 650 千円。
- 2021 年 4 月～2022 年 3 月 東京大学学術成果刊行助成「オレーシャ『羨望』草稿研究——人物造形の軌跡」総額 848,188 円。
- 2021 年 4 月～2023 年 3 月 研究成果公開促進費（学術図書）「《Эманация изыщества》: История создания романа Ю. К. Олеси «Зависть»」代表者、総額 2,100 千円。

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。